

ibookの初期設定

最初のインストール大会などで行った初期設定を記しています。

1.X11をインストール

付属のインストールディスクの3枚目からインストールを行います。
公式サイト(<http://www.apple.co.jp>)からもダウンロードできますが、学科のファイルサーバである、nahaにもおいています。

Finderの[移動]から

nfs:/naha/open

と入力し、

Mac-OS-X > 10.3 > X11User.dmg をダブルクリック。

マウントされたディスク内のX11User.pkgをダブルクリックし、後は手順に従ってインストール完了です。

2.Terminalの設定

ニュースなどの日本語を読むために、文字コードを変更します。

Terminal.appの場合

環境設定から、文字セットエンコーディングを日本語(EUC)に変更します。

その他、ウィンドウサイズや文字色などを自分好みに変えて「設定をデフォルトとして使用」を押す。

iTermの場合

設定をクリックし文字コードを日本語(EUC)にします。その後メニューの「設定保存」を実行することで設定がデフォルトとして反映されます。

3.シェルの変更

Pantherでは、デフォルトのシェルがbashとなっています。

そのままでも構いませんが、とりあえずtcshを使うことにし、その後好みのシェルを選ぶ事をオススメします。

Netinfoマネージャを使う

アプリケーション > ユーティリティ > Netinfoマネージャ (/Applications/Utilities/NetInfo Manager.app)

をダブルクリックし起動。

左下のカギをクリックしパスワードを入力して、編集可能な状態にする。

プロパティのshellの値を、

/bin/bash

↓

/bin/tcsh

に変更。

ウィンドウを閉じて保存して終わり。

chshを使う

Terminalでchshを使う事でも変更できます、 chsh -s tcsh

と打てばOK

4.EasyPackage

<http://www.ie.u-ryukyu.ac.jp/darwin3/>

より、EasyPackageをダウンロードし、インストールを行います。
インストール方法はそちらのページを参考にしてください。

最低限、必要と思われるパッケージは、pkg/base-pkg , pkg/emacs-panther-pkg , mail/mnews といったところでしょう。
講義中に使用するソフトがあれば、その都度インストールしてください。